

令和6年度 第3回教育委員会

日時 令和6年6月10日（月） 15:30～16:44

場所 町公民館・大会議室

出席者	教育委員	柿田 美香	教育長	岩切 康郎
	教育委員	横山 慎子	教育総務課長	野村 敏幸
	教育委員	中神 克寿	社会教育課長	佐藤 光久
	教育委員	山口 昇	教育総務課主幹	馬場 勇次
			社会教育課主幹	麻生 昌秀
			教育総務課係長	森本 亜紀
			社会教育課係長	井上 隆広
			議事録	藤田 脩斗

○開会の挨拶

○教育長挨拶

（教育長）

以前、ALTとして綾中学校で仕事をしていた方が娘と同行して綾町を訪れた記事が宮崎日日新聞の表紙に掲載されたことや、綾小学校4年生の水辺の環境調査に触れ挨拶を行った。

○教育長事務報告

（教育総務課 係長）

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

（社会教育課 係長）

行事経過報告並びに行事計画について、資料に沿って説明を行った。

（教育長）

タウンミーティングの意見で出た伝統芸能について、照葉樹林マラソンと夏祭り実行委員会の中学生ボランティアの参加、教科用図書の採択、について補足を行った。

（教育委員）

今後、伝統芸能は映像資料に残すのか。

（社会教育課 主幹）

現在ある資料から残していく。

（教育委員）

4月から幼稚園保育所関係が教育委員会に移管されたが、その後はどのようなになってい

るのか。

(教育総務課 課長)

6月議会の一般質問でも同様の質問があったので、取りまとめて報告を行う。

○協議事項

(教育総務課 主事)

準要保護認定について説明を行った。

小学校に関しては、令和6年度4月が59名、令和5年度4月が50名で昨年に比べ9名増加している。

中学校に関しては、令和6年度4月が35名、令和5年度4月が36名で昨年に比べ1名減少している。

(教育委員)

小学校の9名増加は貧困家庭が増えている傾向が見られるということか。

(教育長)

生徒児童数は減っているので増加傾向にある。

(教育総務課 課長)

3年前までは各保護者にチラシを配っていたが、一昨年からは申請書を全世帯に配布するようになったため、提出がしやすくなったこともあると思われる。

○その他

(教育総務課 主幹)

小学校支援訪問の授業参観バリアフリー化、高森町への視察、幼保小中連携でのかけはしノート、多様な学びを考える「保護者のつどい」について資料に沿ってプレゼンテーションを行った。

(教育委員)

何年も前から特別支援の研修に行っているが、成果はでているのか。

受けるだけの研修ではなく、それを子供達のためにどう活かすかが重要である。

(教育長)

宮崎市も危機感を持っている。

教育ビジョンに合致した特別支援を作っていきたい。

(教育委員)

特別な支援を必要とする児童生徒の学校間での引き継ぎのための、かけはしノートについて、幼稚園、保育園は提出をする、学校は受け取って終わりではなく、それを活用してほしい。

かけはしノートを受け取るだけでなく見てもらうには、所属長と担任のレベルアップも

必要である。

小学校1年で不登校にならないよう、保育要領の内容をどれだけ文字表現できるか。

しっかりした文字表現なら受け手も読みたいと思う。

子供達がどうすれば学校生活が楽しくなるかが大事である。

(教育長)

子供ファーストでいけるよう情報交換をしながら細かいところも変えていきたいと思う。

(教育委員)

意思疎通でやって行くには時間が必要なため、いかに効率的にしていくかが課題である。

前回、教育長が学校の先生達は地域との疎遠が大きくなっているとおっしゃっていたが、働き方改革もあり先生達はそちらになびいてしまう。

教科研究をしている人はそこまでやらなくていいという風潮はある。

そういった風潮を上手く払拭しながら、このようにしたらこんな良い子に育ったという情報を共有していくことが一番と思う。

(教育総務課 係長)

学校経営案、教科書展示会、第4回定例教育委員会の変更、第7回定例教育委員会の変更について説明を行った。

○閉会